



想いのこもった感謝あふれる集いでした ～卒業生を送る会～

2月24日(金) 卒業生を送る会が行われました。1, 2年生の実行委員が主体となって作成した会で、自ら考え工夫を凝らした会になりました。感激のあまり、多くの卒業生の目から涙がこぼれ落ちていました。

部活動ビデオメッセージ、3年間の思い出スライド、体育大会の団ごとによるエール交換。圧巻は東中応援歌の大合唱でした。1, 2年生から3年生に、3年生から1, 2年生に、そして全校が一つになって応援歌を大合唱しました。心がジーンとなる光景でした。また、若い先生方からは、杉浦佑介先生が中心となって日体大の「エッサッサ」の実演が贈られ、3年生を激励しました。最後に、3年生からの返礼として、70周年記念曲「明碧の朝」の合唱がありました。

会に臨んだすべての人が全力で演じ、感謝の思いを素直に伝え、またそれを素直に受け取る。あらためて東中生の心の成長を感じとることができました。



後輩から先輩へ ～感謝の言葉～

体育大会では、先輩方がいてくれたおかげで楽しく取り組むことができました。全力で声を出し、全力で楽しみ、全力で盛り上げてくれました。先輩方の体育大会にかける気持ちや、練習への姿勢は、私たち1, 2年生が追いかけていた姿でした。

合唱コンクールでは、先輩方の歌を聴き、私たちもこんなふうに歌いたいと強く思いました。体育館中に響き渡る先輩方の歌声は、迫力があり、鳥肌が立ち心に響きました。私たち1, 2年生もたくさんの人

を感動させる歌を歌いたいです。

部活動では、真剣で熱い先輩方の姿が心に残っています。夏の大会に向かって全力で取り組む。試合に絶対勝つという気持ちで戦う。うまくいかなかった時は、全員で話し合いました。先輩方の姿を追いかけ、自分たちの部活動をもっと強くしていきます。

当たり前のことを当たり前以上に、先輩方がつくってくださった今の東中を、ぼくたち1, 2年生が受け継ぎます。

自由の鐘に感謝のメッセージ

本校の校歌の一節に「自由の鐘のその音こそ 永久に我らの生命なり」とあります。それにちなんで、生徒昇降口前に「自由の鐘」があります。その鐘に生徒会が卒業生への感謝のメッセージを書き込んだリボンをつけました。卒業までの1週間、メッセージリボンを替えて毎日異なるメッセージを送りました。卒業生が登下校時に自由の鐘を鳴らし、校庭に感謝の音が響きます。

- 先輩方と過ごした日々を胸に、これからがんばります。
- 夢に向かってがんばってください。
- 先輩方がつくってくれた東中の伝統を受け継ぎます。 など



皆勤賞 おめでとうございます

本校では、欠席日数が0日の生徒に皆勤賞を贈っています。今年、中学校3年間で無欠席の生徒が40名いました。これは、3年生159名の約25%にあたります。その中で、小中学校9年間の皆勤賞受賞者が3名いました。中崎光紗さん(3-2)、鈴木拓実君(3-4)、松本理愛さん(3-4)、です。9年の間には、熱が出たりけがをしたりしたこともあったかと思いますが、休まず元気良く登校できたことはとても素晴らしいことだと思います。おめでとうございます。



東中特別賞 おめでとうございます

東中特別賞はこれまで部活動等で県大会以上の大会で活躍した生徒や、東中の代表として地域や社会に貢献し東中の名を広く高めた生徒に贈られています。今年、吹奏楽部14名の生徒に贈られました。吹奏楽部は東海大会で3年連続金賞を受賞し、さらに今年は1位の証である朝日新聞社賞を受賞しました。また、福島で行われた全国学校合奏コンクールで銀賞を受賞するなど3年間の活躍が顕著であったことにより贈られました。



卒業記念品をありがとうございます

卒業生の皆さんが、学校に卒業記念品として写真にあるような屋外用掛け時計をプレゼントしてくれました。ありがとうございます。北門から登校する際に時間がわかるように旧館外壁に設置します。外庭掃除のときも、これで時間を意識して掃除ができます。



中日新聞 新聞切り抜き作品コンクールで優秀賞受賞！

このコンクールは中日新聞が配られている中部8県ほどの学校が参加するコンクールです。その中で3年の園田愛美さんの作品が優秀賞に選ばれました。コンクールでは、小中高校生で9816作品が寄せられたそうです。その中で、中学生の部では、中日大賞3点、優秀賞12点、入選17点、佳作18点が選ばれています。本校の入賞作品は以下の通りでした。

- ▽優秀賞 園田愛美(3年)「助けられなかった命～しつけと虐待の境界線 いのちを守る～」
- ▽入選 黒田実由(1年)「18歳の選択～若者がつくる未来～」
- ▽佳作 神谷香穂(3年)「自分の未来は自分で決めよう」

サッカー 愛知県中学校U-13選手権大会 準優勝

サッカー部は、U-13サッカー選手権西三大会で準優勝し、愛知県大会に進出しました。初戦は名古屋1位の供米田中と対戦し、1-0で勝ちました。そして、2月12日(日)に行われた準決勝で犬山市の城東中と対戦し、1-0で勝ちました。決勝では、西三大会の決勝と同じ安城北中との対戦となりました。延長までもつれ込んだ試合でしたが、どちらもチャンスをものにできず、0-0でPK戦になりました。緊張した場面で、しかも芝ということもあり、シュートが浮いてしまい、結局2-3で敗れ準優勝となりました。